

郡上市明宝地区における 森の恵みの有効活用

活動地域  岐阜県

つづける助成

3年目

実践

講座・ワークショップの開催 **12回**

参加者人数(延べ) **147人**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **100%**



善兵衛桜のスプーン作りワークショップ

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

大雨により折れた地域のシンボルであった桜の古木の太枝を使い製材を行ったが、重さにより作業が難航した。桜は硬いため、《削る》ワークショップでも参加者が苦勞した。

■工夫した点

記念品にしたいという要望があったため、スプーンとフォークだけではなく、飾ることができるよう工夫した。参加者が善兵衛桜のある桜並木まで散策できるよう案内を行った。

課題

高齢化により、林地や里山環境を維持する人手が減少していることから、被害が深刻化し、森の恵みに感謝していただく命のサイクルが途絶えつつある。

目標

鹿の角や皮、森の素材を活用した商品開発やワークショップを通し、命が学びの機会をつくり、身近な里山とのつながりを回復させた小さな経済循環を目指す。

活動内容と成果

- 〈森と命のつながりを伝える活動〉
- 地域の素材をつかった商品開発(10点)
- 講座、ワークショップの開催(12回)
- 情報交換会の開催(4回)及びマルシェの開催(3回)
- 〈地域内サプライチェーンの確立〉
- 植樹イベントや自然体験ワークショップを開催。年間を通じて都市部から人を呼び込む仕組み作りを行った
- 活動のPR及び作家の紹介サイトを構築した
- 道の駅明宝で1人の作家が鹿革を利用した商品の販売を開始した



マルシェと同時開催ミクロハイク

全助成期間の活動を振り返って

里山・森林に関わる担い手不足と、捨てられてしまう地域資源にスポットをあてて活動を行ってきた。機械化・効率化したのには理由があることを実感しつつ、失われた里山の「つながり」と先人の知恵と技術を取り戻したいと痛感する3年間だった。助成を受けて多くの若者が最初の一歩を踏み出すことができたり、実験や挑戦を重ねることができた。地域に新たなつながりができ、やりがいや、小さな経済が生まれ始めている。



森のリースづくりワークショップ

〒501-4307
岐阜県郡上市明宝二間手361番地
電話：0575-87-3799
E-mail：nanashinbo.meiho@gmail.com
HP：http://nanashinbo.com/



今後の展望

今後も、鹿革の共同購入、作り手を増やす活動を続け、サイトを活用した情報発信を進めていく。持続可能な里山環境や暮らし方に対する若者の関心が高まってきたため、地域の担い手との情報交換の場や、学びの場を定期的で開催し、「森」「学び」をキーワードに、賛同者を増やし、ネットワーク作りにも力をいれていきたい。

